

林建設 株式会社

鹿児島県伊佐市大口里853番地2

設立 1965年

資本金 7,000万円

従業員数 42名



林建設
企業HP



事業内容

林建設は～キラリと光る中小企業を目指す～をスローガンに、人にやさしく、環境にやさしく、社員にやさしく一歩一歩、技術を追い求め地域のまちづくりのパートナーとして事業展開を行っている会社です。

●学生サポーターの魅力ポイント●

最先端の技術を駆使して地元を守る プライド

「地球環境に貢献する企業活動の実践」をスローガンに掲げる林建設は、公共工事を中心に総合建設業を事業の主体として、鹿児島県内で活動を展開しています。最先端の技術を駆使して地元を守るプライドを掲げている点に魅力を感じました。



入社7年目
久見瀬 陸さん

仕事内容とやりがい

入社7年目の久見瀬さんは、主に土木工事の施工管理を担当しています。計画通りに工事が進んでいるか、安全に工事が行えるかを管理する仕事だそうです。一番印象に残った仕事について尋ねると、川の幅を拡張し水位を下げ、大雨の際に水が溢れないようにする工事をした際に、地元の方から「安全な川に整備してくれてありがとう」という感謝の言葉をかけられたことが心に残っていると話していました。久見瀬さんの仕事のやりがいは、事故なく工事を終えること、そして、工事で完成したものが将来にわたり残っていくことだということです。「大雨、大雪などの災害時は、建設業の我々が一番に出動し、道路を車両が通れるようにするなどの取り組みによって、地域へ貢献していると感じられる点もやりがいだ」とも話します。有事の際に地元へ貢献ができるのは、魅力的だと感じました。

会社の雰囲気

●誰にでも相談できる雰囲気

質問に対して自分が納得できるまで答えてくれたり、仕事上で悩んでいる時に親身になって相談にのってくれたり、穏やかで良い雰囲気だと話していました。取材中、他の社員への対応からもやさしい雰囲気が伝わってきました。

鹿児島で働く魅力

●地元でラグビー指導

久見瀬さんは体を動かすのが好きで、休みの日はジムに行ったり、高校時代からプレーしているラグビーをしていると話します。その経験をいかして、地元の小中学生にラグビーの指導もしているそうです。指導している生徒が試合に勝つ姿を見るのが楽しみだと話します。仕事以外でも地元に密着して活躍している様子がわかりました。



● 社内は風通しの良いオープンデスク



● 業務風景



● 測量に使用しているドローン



入社23年目
三重 雅哉さん

仕事内容とやりがい

三重さんは、工事を担当する現場の仕事を経て、今は工事現場を統括する仕事をしています。今までで印象に残っている仕事とは、伊佐市の曾木の滝に水害防止の分水路を作る工事で、国からグッドデザイン賞をいただいたことだそうです。一つ一つの現場で、色々な人々と関わりながら一つのものを作っていくところがやりがいだと話されていました。

鹿児島で働く魅力

●地元への貢献を実感

鹿児島で働く魅力は、自分たちの工事が地元の役に立っていると実感できることだと話します。特に土木関係の部署だと、困っている場所に行き、それを改善するために工事をします。災害の復旧や防止にあたることもあるそうです。地元の悩みを解決したと誇りを持つ仕事だと感じました。また、通勤距離も短いのでプライベートな時間が確保しやすいのも魅力的だと話していました。

会社の雰囲気

●新しいことに挑戦することができる

ICT 技術を導入したり、新しいことに挑戦することができる会社だと話していました。新しいことに挑戦する前向きな姿勢を持つ人が向いているかもと話していました。新たなことへのチャレンジは、1人ではできず、周りの方々の協力がが必要になると思います。挑戦する土壌が整っていることはとても素敵だと感じました。

●ドローン空撮で作業効率化

導入している最新技術の一つにドローン空撮があります。ドローンで測量を行うことで、作業時間が大幅に短縮できたと話します。土木工事ではかき出した土を処理する必要がありますが、その際にどれくらいの量の土が出るのか、あらかじめ計っておかなければなりません。ドローンによってそれが素早く、正確に計れるようになり、効率化を図れたということです。

採用担当から学生へのコメント

林建設が参画している地域みらいグループは全国の 42 社が参加していて、地域をまたがった協力関係を築いています。グループの会社同士で力を合わせることで、一社では難しかった取り組みでも実現させることができます。地元鹿児島から挑戦したい、幅広く活躍したいという方をお待ちしています。

地域みらいグループ 大塚さんからのコメント



取材後の感想



野崎 一樹さん

業務に ICT やドローンを取り入れることで、測量日数のカットが実現できる点に加え、危険な現場に向く必要性が薄れている点から、建設業務で日々鹿児島の安心と安全を守っているだけでなく、自分たちの安全も大事にした上で業務に取り組まれている点に感激しました。また、林建設の皆様の地元愛やチャレンジ精神からも、社員一人一人の公私を大切にされている様子が見え、働く環境や雰囲気の良さを感じました。



井之上 翔真さん

林建設の多くの社員は県内出身者だと伺いました。地元の建築・土木に関する施工を最先端の ICT 技術を駆使して行い、災害時にはレジリエンス認証企業として地元を支える姿に感銘を受けました。また、ドローンで撮影した実際の現場の画像を見て、その技術力の高さを感じると同時に、私たちの取材に寄り添ってくれる優しさを感じることができました。



槌田 陸人さん

林建設で働いている人の 9 割近くが県内出身だとお聞きしました。現在は「地域みらいグループ」に参加しており、そこに参加している全国の会社に修行に行ってくるという事も可能だと伺いました。地元で就職しても選択肢の広さがあることに感動しました。どんどん新しいことに挑戦している会社だと感じました。



吉行 朝陽さん

災害時などに迅速に企業活動を再開できるというレジリエンス認証を受けている企業であり、災害時の道路整備などの場面で地域に貢献できる点が魅力だと感じました。また、取材時の社員の方とのコミュニケーションを通して、非常にやさしい雰囲気のある会社だと思いました。